

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	22	学校名	香芝高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 地域との交流事業

2. 活動内容

(1) 地元の小中学校とのボランティア活動

① 香芝市にこここ挨拶運動

毎月25日に香芝市内の小中学校で行われている挨拶運動に「挨拶出張隊」として本校の生徒会の生徒が出向き、挨拶を呼びかけた。今年度は5回実施することができた。

② 花いっぱい運動

11月24日に真美ヶ丘西小学校の児童と一緒にプラントナーへの花の植え付けを行った。

高校生と一緒に和やかな雰囲気の中で、思い思いの色のパンジーを選んで植え付けていた。



(2) 地元の小中学校や地域との交流活動

① 真美ヶ丘自治会主催夏祭り

毎年祭りのオープニングのアトラクションで、本校のバトン部がバトンの演技を披露している。今年度は8月5日に25名のバトン部員がポンポンやバトンの華やかな演技を披露し、祭りに来ていた地元の方を楽しませた。

ただ、毎年行っている祭りのあとの清掃活動は雨天のため延期となり、参加できなかった。

② 真美ヶ丘西小学校運動会

9月30日に行われた運動会のアトラクションに、本校の吹奏楽部とバトン部が演奏と演技を披露した。今年は好天に恵まれ、小学生はもとより保護者の方にも楽しんでいただけた。

3. 成果と課題

交流活動については、毎年の活動が定着しているものではあるが、小中学校や地元の方からの期待に応えるものになるよう生徒たちも工夫を重ねて練習している。また、挨拶運動は、大きな声で挨拶を返してくれる小学生がとても新鮮でうれしいと喜んでいる。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

小中学校や地元との交流を通じて、生徒たちが自信を持ち積極的に活動できるようになっているので、できる限り多くの生徒が参加できるような機会を考えていきたい。また、小中高で一緒に活動するには、年度初めの日程調整が大切なので、早い時期に打ち合わせの機会を必ず設けるようにしたい。